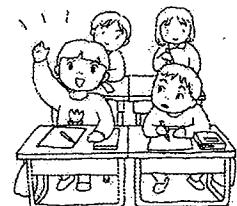


# 整備検討委員会 市へ廃校となる3小学校の跡地利用の検討結果を報告 小中一貫校の開校は3年後なのに 12月中に市の方針策定 「南小倉小学校の跡地は民間事業者に売却!?」



## 西小倉地域 小中一貫校整備検討委員会 ■学校部会

西小倉小、北小倉小、南小倉小、西小倉中の学校運営委員4名、各小中学校校長4名、各小中学校PTA4名、西小倉地区コミュニティ推進協議会会長・副会長、西小倉自治連合会会長など17名で構成

## ■地域部会

西小倉地区コミュニティ推進協議会副会長、西小倉自治連合会副会長、西・南小倉体振会長、NPO法人まちづくりねっと・うじ、働きたいおんなたちネットなど10名で構成

## 説明会の開催

※市内全域から参加できます。

- ・第1回 10月18日(水)  
19時～  
西小倉地域福祉センター
- ・第2回 10月20日(金)  
19時～  
西小倉地域福祉センター

「市教委」は、2026(令和8)年4月の開校を目指して、3小学校を廃校し西小倉中学校に統合する(仮称)西小倉小中一貫校計画をすすめています。

市教委は、小中一貫校の整備に関して、22年1月26日に、外部委員会の西小倉地域小中一貫校整備検討委員会(以下「整備検討委員会」)を立ち上げ検討を進めてきました。

整備検討委員会は、地域部会から報告された検討結果を市に提出し、総務常任委員会に報告しました。地域部会では、わずか3回の部会内のワークショップを経て、検討結果をまとめています。3小学校跡地活用の検討結果については次のとおりです。

■西小倉小学校 多世代交流施設として検討。「みんなの居場所」

■北小倉小学校 スポーツ振興の場として検討。「スポーツ・遊びの場」

■南小倉小学校

宇治市は、9月28日に開催された総務常任委員会、「西小倉地域の小中一貫校計画で廃校となる3小学校(南小倉、西小倉、北倉)の跡地利用の方向性について報告しました。

宇治市教育委員会(以下「市教委」)は、2026(令和8)年4月の開校を目指す小倉中学校に統合する(仮称)西小倉小中一貫校計画をすすめています。

整備検討委員会は、地域部会から報告された検討結果を市に提出し、総務常任委員会に報告しました。地域部会では、わずか3回の部会内のワークショップを経て、検討結果をまとめています。3小学校跡地活用の検討結果については次のとおりです。

民間事業者へ売却を検討。  
「新たなくらじの場」

市は、2回の地域説明会を経て、今年12月を途中に、3小学校の跡地利活用に関する基本的な方針を策定するとしています。しかし、小中一貫校の開校は3年後の26(令和8)年です。その間、子どもたちは、友だちと一緒に、小学校の校舎で学んでいます。それなのに、9月8日に「地域部会から検討結果の報告があつた」からとして、わずか20日間を経て委員会に報告しています。あまりにも拙速です。

「学校部会」と「地域部会」は一体です。小中一貫校のグランドが狭く、体育の授業や放課後の活動が確保できることなど、多くの課題が山積みです。3小学校の跡地利用については、保護者や地域の要望に真摯に向き合い、性急に進めるべきではありません。

